

追悼・松本晴充会員 享年67歳

いつも優しい笑顔と最大の愛と気配りの人でした...



松本晴充氏を偲ぶ

葬儀委員長 南川博茂

2004(平成16)年11月からは、大阪中央ロータリークラブのメンバーとなり、2016(平成28)年7月からは、会長職を務められました。松本晴充氏にとっては、充実した公私の生活であった筈であります。同氏は、有限会社PAPA'S & MAMA'Sの代表者を務められた後、昨年令和2(2020)年1月に御長男の勘(ジン)さんに会社代表者の地位を譲られました。4半世紀程前、24年前の、平成7(1995)年春の時点では、店舗数は、21店でしたが、只今は、全く新たな業態の店舗も含め、全部で49店舗を展開するに至っております。晴充氏が正式に代表取締役役に就任されたのは、平成15(2003)年3月のことでありますが、私との御付き合いは、その前の平成2(1990)に遡りますので、30年余ということになります。晴充氏にとって、私は、耳の痛い、難しい事ばかりを言う、真に難儀な年長者ということでありました。が、その後、突如、「師匠」と崇められ、「弟子入り」・・・とのコミカルな関係、珍妙な師弟関係もどきに至ったのは、1995年1月17日阪神淡路大震災の後、私がマラソンを俄に始め、思い起こしますと、その3年後の1998年3月に明石大橋マラソンに初めて一緒に参加したことがキッカケでした。これを契機に、ハーフマラソン、フルマラソン、100kmマラソンへと順次距離を延ばし、最盛期は、毎週のようにアチコチの大会へ走りに行くという状況でした。近時は、10kmにするか、ハーフマラソンにするか、との師弟共に悩まぶりでした。同氏の入院は、その一週間後の5月28日朝に当人からメールを受けて、知りました。幽冥境を異にするに至った今となつては、唯この重い事実を受け留め、故人の御冥福を御祈りするのみであります。また、残された私達は、只々貴君の思い出でを胸に精一杯生きて行く外ありません。

合 掌



ご入会

2004年11月4日

南川博茂会員ご紹介

16年間 皆出席

2007年～2008年

副幹事

2008年～2009年

親睦友好委員長

2010年～2011年

副SAA

2011年～2012年

国際奉仕委員長

2013年～2014年

職業奉仕委員長

2015年～2016年

会長エレクト

2016年～2017年

会長

2018年～2019年

規定情報・研修委員長

ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、故人のご功績を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。



ジョクジャカルタ マリオボローターリークラブ より

翻訳・管家基夫

松本さんを偲んで...

松本さんが亡くなって、私たちはお別れをする機会がありませんでした。松本さんを失うことは私たちの心を傷つけ、神が彼を神の家に連れて行った日に私たちの心の一部も彼と一緒にでした。私たちは彼がいなくてとても寂しいです。彼を知ったのはそれほど長くはありませんでしたが、彼が知っている人たちにどれほどの愛情を注いでいたかは知っていました。彼は、人々に正しいことをするように促すことを躊躇しませんでした。しかし、彼はまた、「大丈夫だよ、心配しないで」と言って人々を慰め、純粋な優しさと愛のある笑顔を見せてくれました。生前の彼は素晴らしい人でした。とても謙虚で、誠実さにあふれていました。彼は、インドネシアの孤児たちをはじめ、彼の周りや地域の多くの人々に、たくさんの笑いと喜びと幸せをもたらしました。

松本さん、もし涙が階段を作ることができるなら、私たちは天国への道を歩き、あなたを再び連れ戻します。私たちは、悲しみであなたを思い出すのではなく、長年にわたって共有したすべての笑いと幸福であなたを思い出すようにします。あなたの記憶は、私たちが人々の笑顔とより良い未来のために旅を続けていく上での宝物です。

友よ、安らかに眠ってくれ、また会う日まで...

ジョグジャカルタ・ロータリー・クラブの全会員が哀悼の意を表し、松本さんが安らかに眠れることを祈っています。

アーメン

